

2023.5.19

分光分析装置

簡易マニュアル



<注意事項>

- ・配線類に触らないこと。特にカバーの着脱の際は注意を払う。
- ・装置上部の蓋は、資料の取り外しの時以外は常に閉めておく。装置内にほこりなどが入ると正しく測定ができなくなるため。

<操作手順>

- ①主電源、装置の電源、PC の電源を入れる



主電源



PC の電源

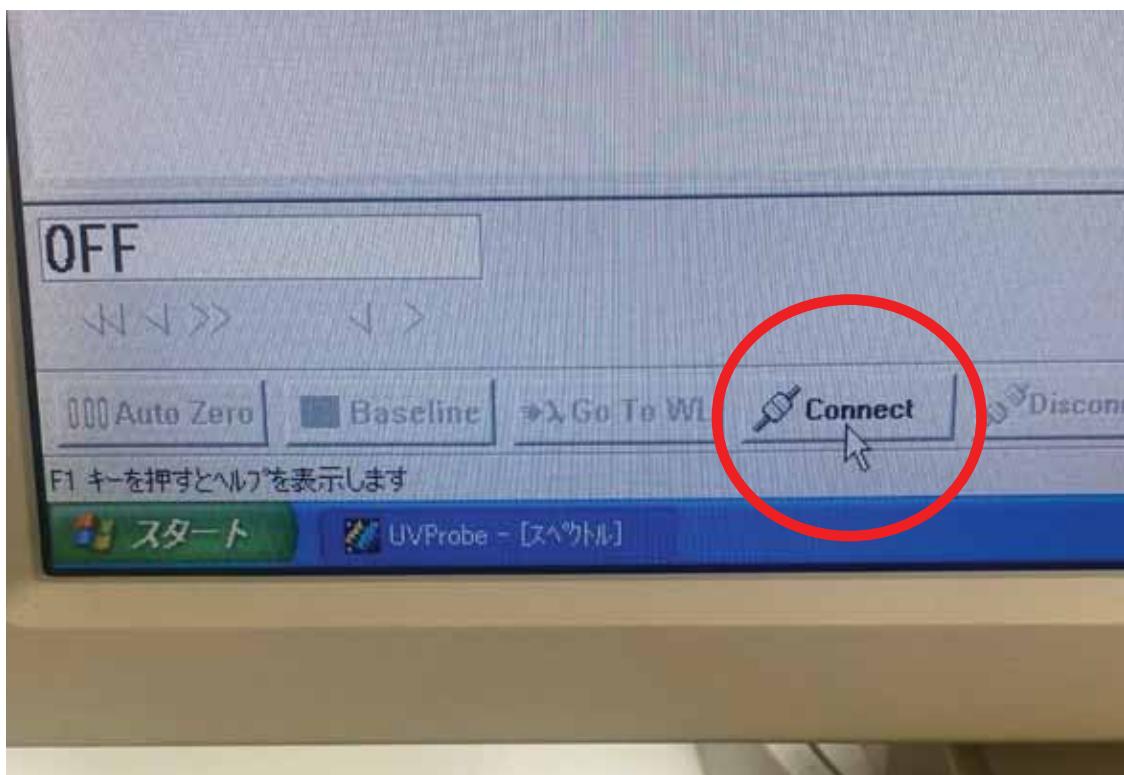


装置の電源

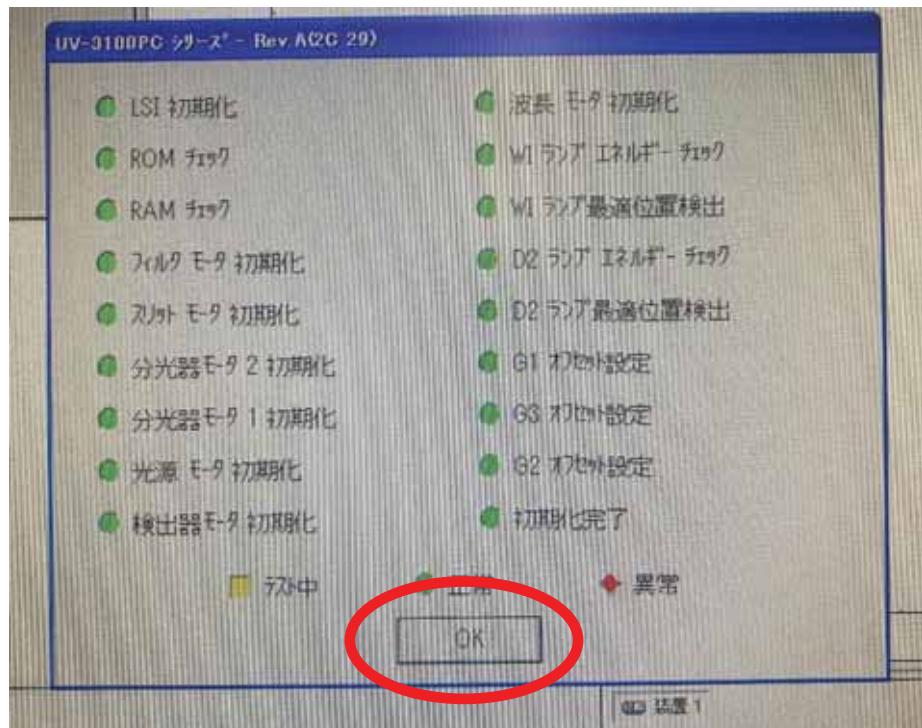
②UV Probe 2.10 を起動



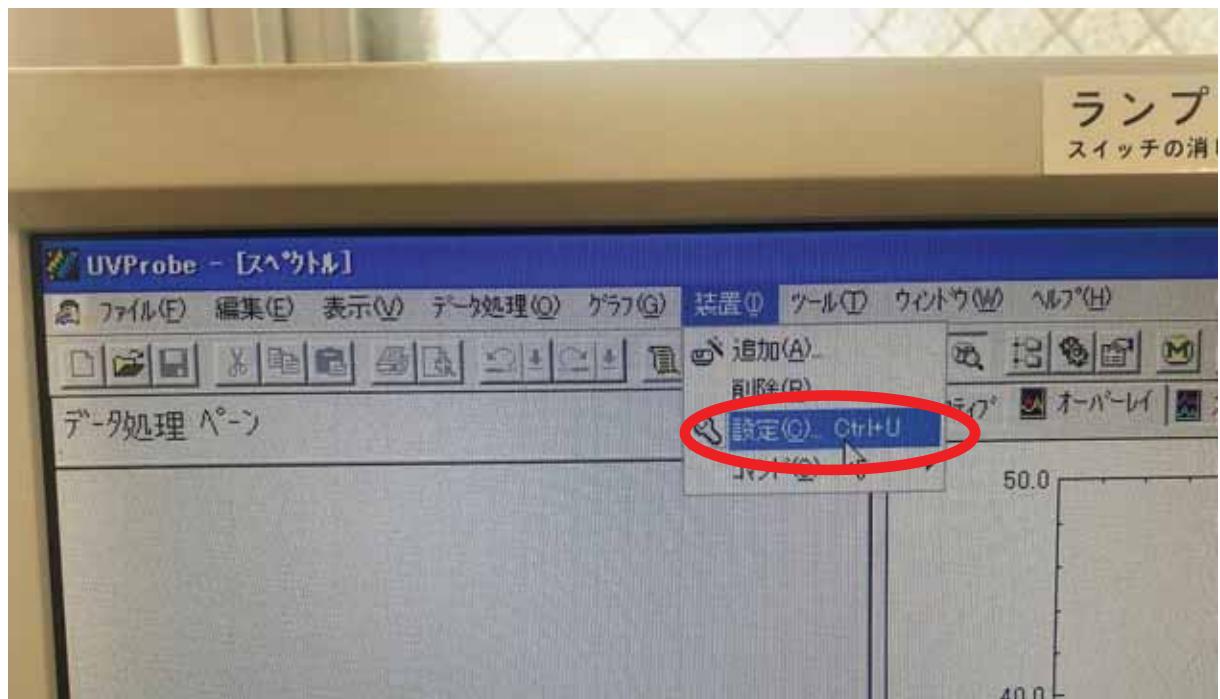
③装置上部の蓋が完全に閉まっていることを確認してから、Connect をクリック



④動作確認が行われるので、すべての項目が緑に点灯したあと OK をクリック

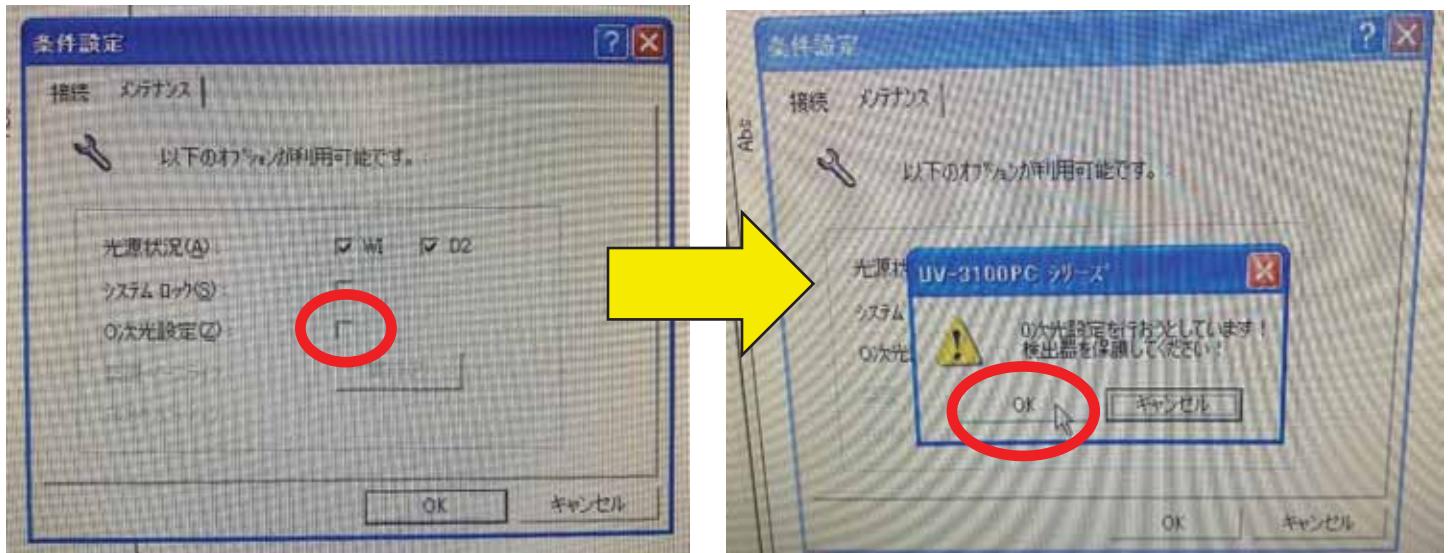


⑤装置タブの設定をクリック



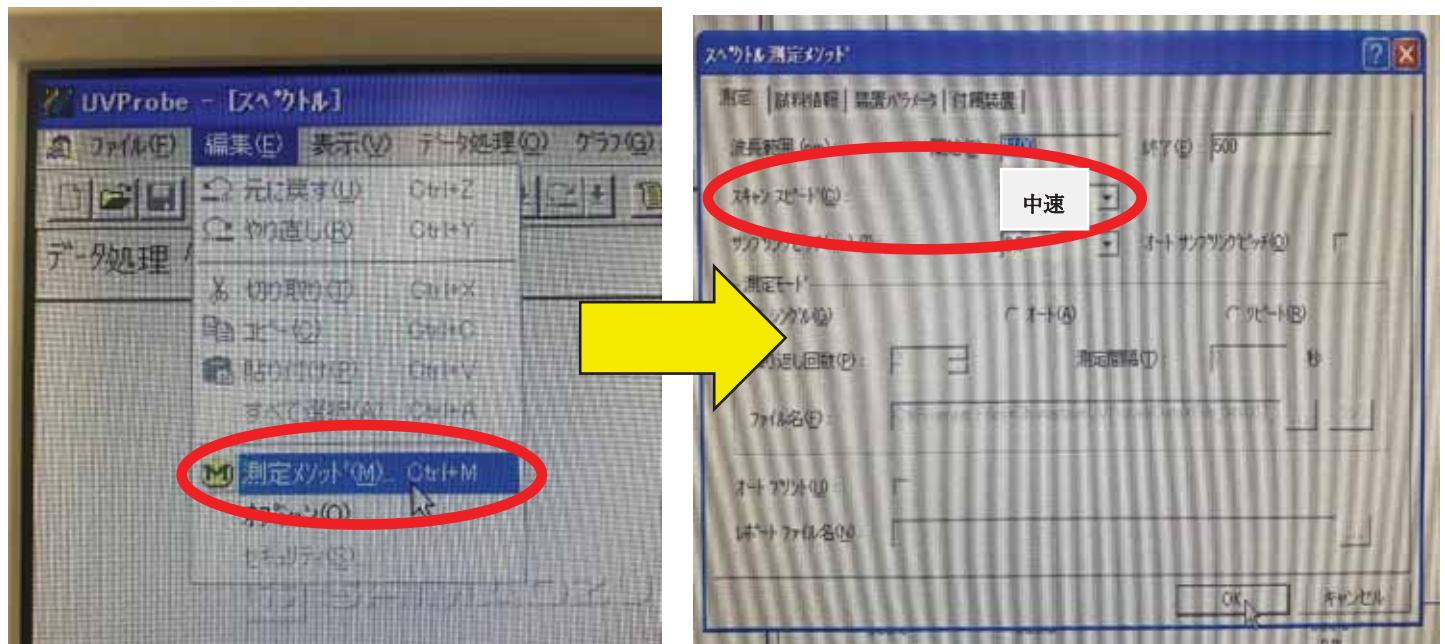
⑥メンテナンスの0次光設定にチェックを入れる

注意文のOKをクリック



⑦編集タブの測定メソッドをクリック

- ・スキャンスピードを中速に設定する
- ・スペクトル測定メソッドのウィンドウ内では測定に関する細かな設定が行えるので必要に応じて設定を変更する



⑧装置上部の蓋を開け小窓付きの部品に資料を固定する

資料を固定したら部品を戻し蓋を閉める

※部品は下図赤枠内のねじを緩めて外す

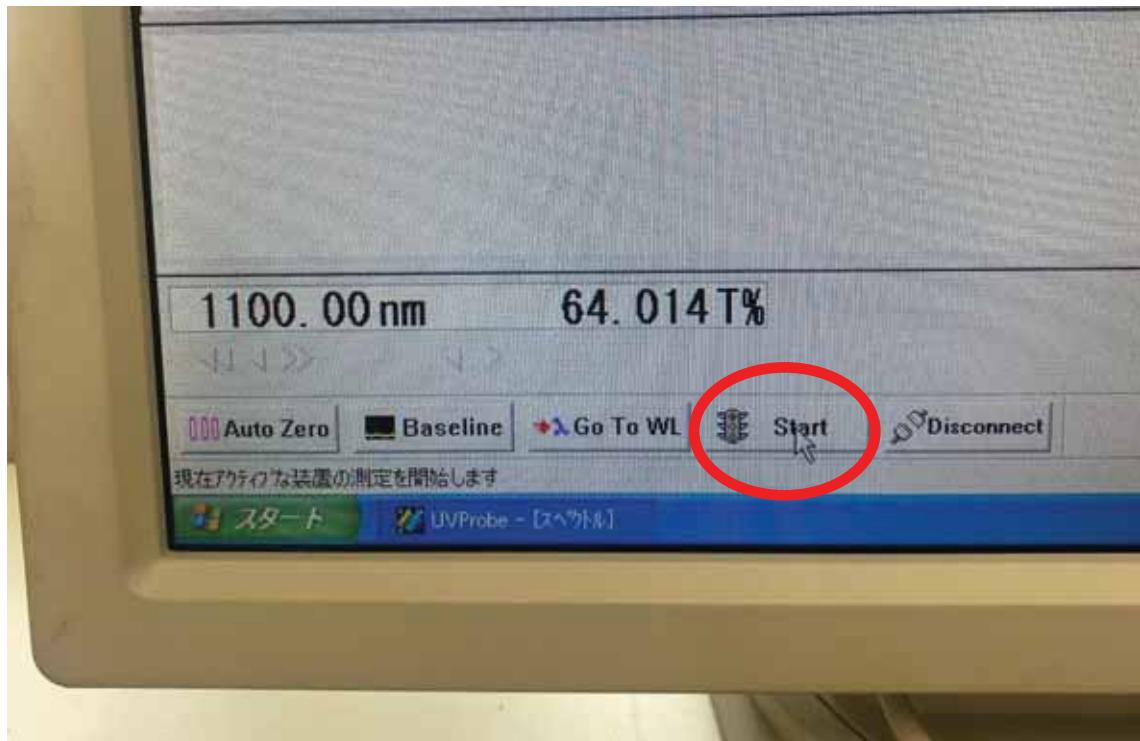
※蓋を開けっぱなしにして作業しない



部品にはテープが巻かれており
資料がくっつくようになっている
部品の小さい穴の位置が測定位置
である

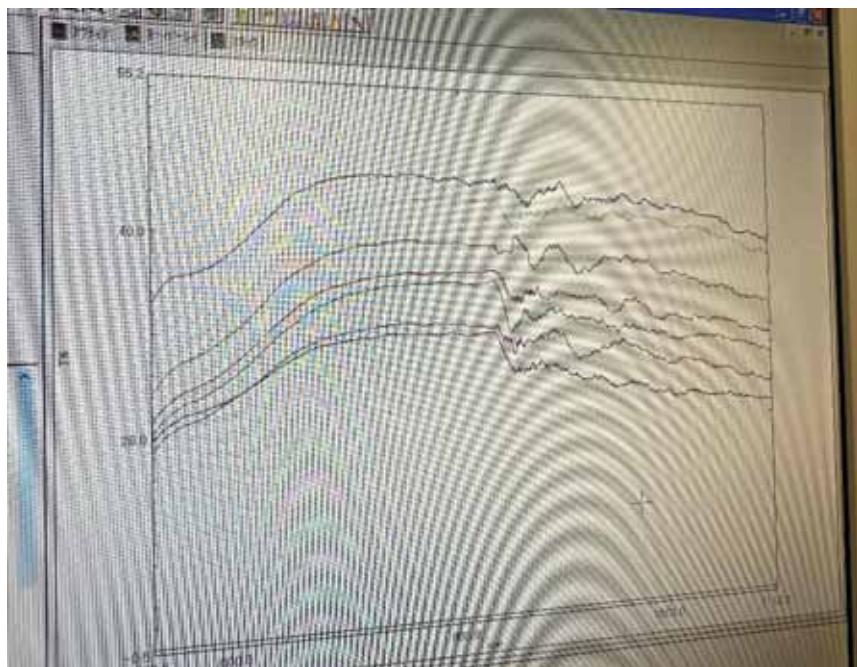


⑨装置上部の蓋が完全にしまっていることを確認してからスタートをクリック



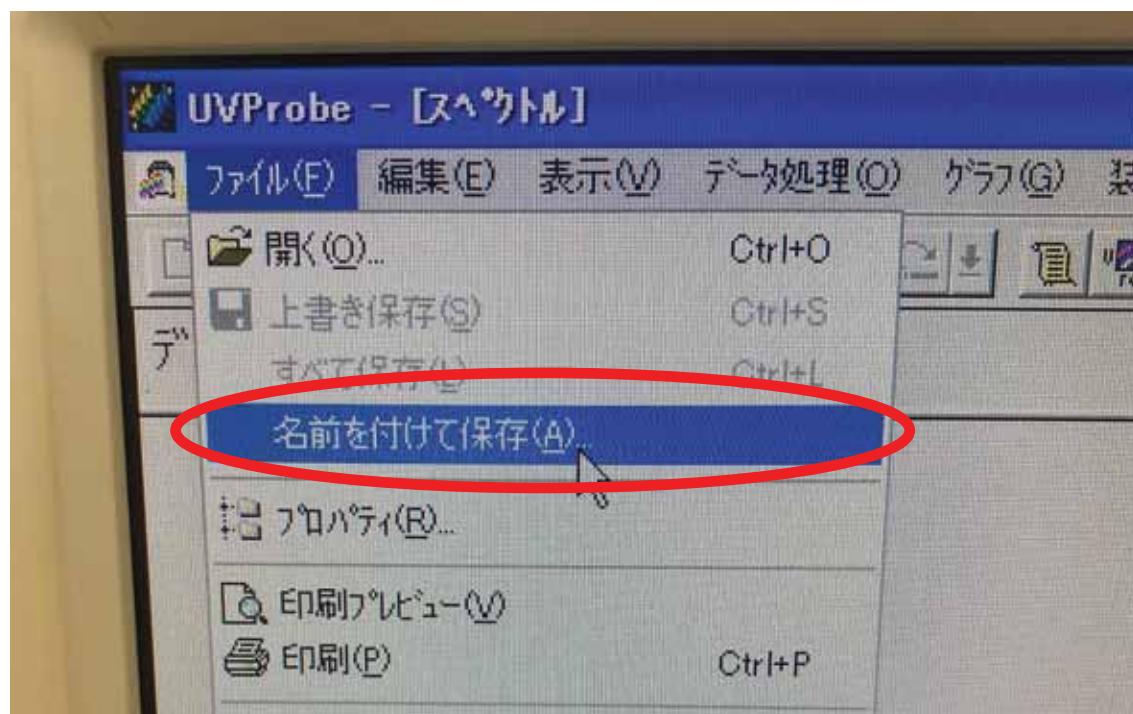
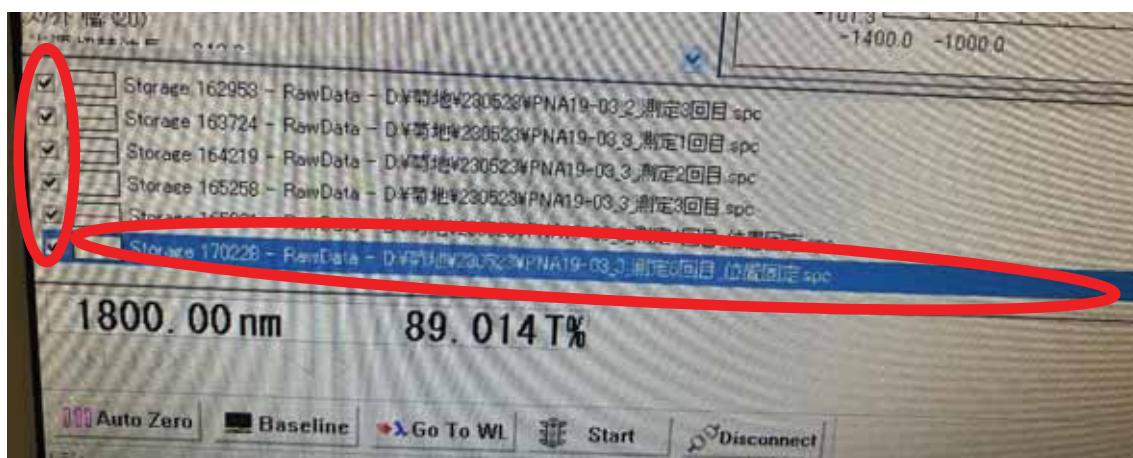
⑩得られたデータの保存

測定したデータは以下の写真のように画面右側のグラフ上に表示される
連続して測定を行うと同じグラフ上に複数のデータが表示される

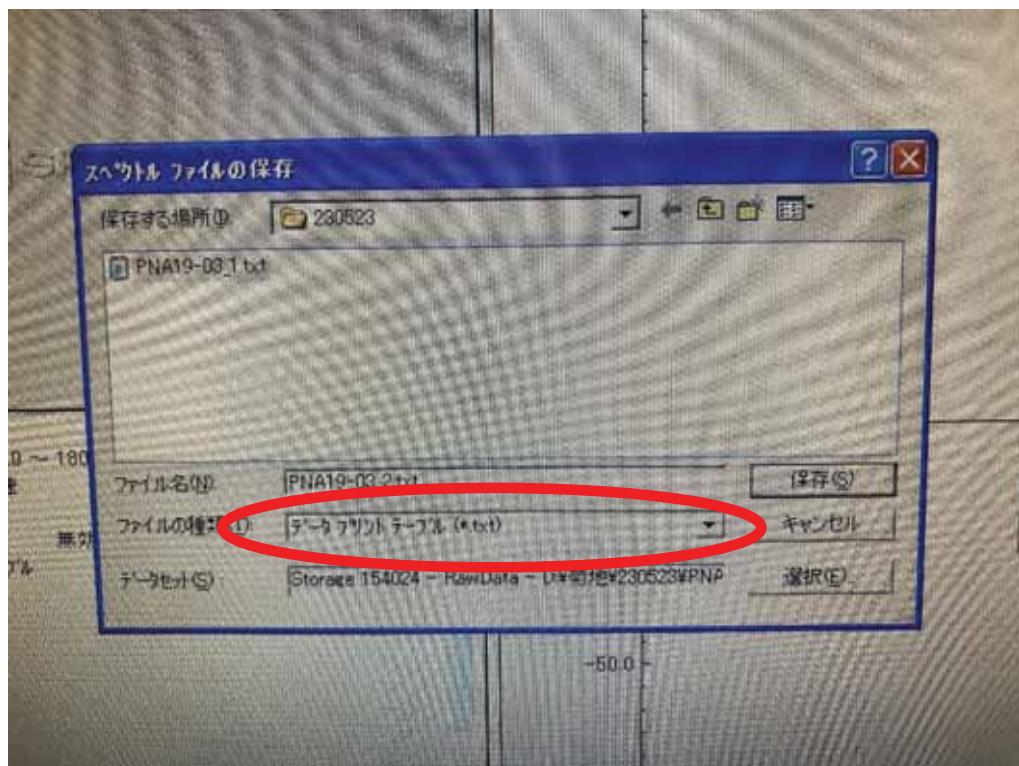


複数のデータが表示されているときは画面左下のデータ欄のチェックを選択するとデータを表示するかどうかを選択できる

測定結果を保存する際はデータ欄で選択して表示が青くなっているからファイルタブの名前を付けて保存をクリック



データの保存形式は複数あるが自分の PC などでデータを使用したい場合はデータプリントテーブル形式で保存すると良い



<終了手順>

- ①画面上の「×」をクリックしソフトを終了する
- ②PC をシャットダウン
- ③装置の電源、主電源を切る
- ④装置の温度が下がってからカバーをかける
配線類を引っ張ることのないように注意する

